

1日 三谷ファミリークリニックは医療法人となりました さらに皆さまのお役に立てる医療を目指します
2007年11月1日に開院して以来7年半、7月1日にミタクリは医療法人三谷ファミリークリニックとして新たなスタートを切りました。地域のかかりつけ医として「かゆいところに手が届く」医療を目指していますが、法人化したからといって、決して規模が大きくなるわけでもなく、新たな事業を今スタートするわけでもありません。ですが、もっと皆さまのお役に立ちたい、と思ったときにより幅広い視野で考える事ができるようにと踏み切りました。開院当初のスタッフは、医師2名、看護師1名、事務3名の6名でしたが、現在は医師2名、看護師7名、事務7名、管理栄養士1名の17名と3倍近くになり、ホスピタリティも大きく向上させることが出来ました。みんなの応援室ちぐさのもりも、皆さんの支援のおかげで軌道に乗りました。気持ち新たに頑張りたいと思います。今後ともよろしくをお願いします。

【ニュース】

1. 診療日の変更をお知らせします。

今月の休診の予定はありません。

8月17日(月)～20日(木) 巽 休診

8月25日(火)～29日(土) 三谷 休診

同期間は以下のようになります。よろしくをお願いします。

	17	18	19	20	21	22
午前	三谷	三谷	三谷	三谷	三谷/巽	三谷
午後	三谷		三谷		巽	
夜診		三谷	三谷		三谷	
	24	25	26	27	28	29
午前	巽	巽	巽	巽	巽	久保
午後	巽	往診	巽	往診	巽	
夜診		休診	巽		巽	

2. 糖尿病の足ケア(フットケア) 今月も月間です。

この時期は、糖尿病の方にとってミズムシの出やすい季節です。恒例のフットケア、ストッキングは脱いで、素足になりやすい格好でお越しください。

3. 骨そしょう症の検査の日程

7月の実施日は21日(火曜日) 午前です

4. 7月・8月は大腸ガン検診月間です

「便の検査」で大腸ガンの検査が簡単にできます。65歳以上の堺市在住の方は、負担なしで受けることが出来ます。ご希望の方に容器をお渡ししています。詳しくは、受付までお問い合わせください。

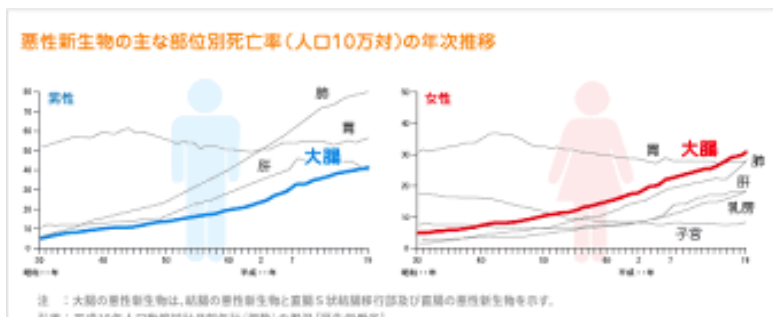
【ミタクリ歳時記 亀井南冥(なんめい)のこと】



先日、福岡市から30分ほどの所にある志賀島に足を伸ばしました。そう、あの金印で有名なところですよ。発見されたのは江戸時代、天明4(1784)年2月23日、今日の暦では4月12日にあたります(「天明四年志賀島村百姓甚兵衛金印掘出・付口上書」)。この金印を最初に鑑定したのが、当時の黒田藩西学問所、甘棠館の館長亀井南冥(なんめい)でした。南冥は、中国の歴史書である『後漢書』東夷伝に、建武中元二(57)年に(後漢の)光武帝が倭奴国王に「印綬」を与えた記述があることより、「この(志賀島で見つかった)印は漢印そのものである」と、金印の重要性を訴えたわけですよ(『金印弁』)。私は、南冥が大阪の永富独嘯庵(ながとみどくしょうあん)(墓所は上本町)に学び、「気逆甚だしく、頭痛眩暈(めまい)」した人に対して抑肝散や温胆湯(加石膏)を上手に運用した漢方医と理解していましたが、彼はそれ以上に儒学者として優れた人物で、藩の要職にありました。南冥がいなければ、印面の長さ平均2.3cm、質量108gの小さな印は「なんや、これ?」とポイ捨てて終わったかもしれません。その後、松平定信の寛政異学の禁により上下関係を重んじる朱子学のみが講じられ、南冥は失脚の憂き目に遭いました。この一ヶ月、彼の業績を振り返りながら、南冥の学の深さに感動を新たにしました。

南冥がいなければ、印面の長さ平均2.3cm、質量108gの小さな印は「なんや、これ?」とポイ捨てて終わったかもしれません。その後、松平定信の寛政異学の禁により上下関係を重んじる朱子学のみが講じられ、南冥は失脚の憂き目に遭いました。この一ヶ月、彼の業績を振り返りながら、南冥の学の深さに感動を新たにしました。

【欣子先生の診察室だより ガン検診について】



今月は大腸癌健診月間。年に1回皆さんにお声かけをしています。おうちでできる癌チェックです。まずは「便の検査」で潜血があるかどうかをチェックしましょう。潜血は痔(ぢ)や大腸憩室(けいしつ)といった良性の病気から癌までありますので陽性ならば大腸ファイバー等の内視鏡検査を紹介します。

大腸癌は食生活の西洋化に伴い近年増加、女性の癌死亡率では第1位です。ただ治療は年々進歩し、転移した大腸癌でも寛解している患者さんもたくさんおられます。この患者さんにどの抗がん剤が効くかということが事前に検査できるなんて私の研修医時代ではあり得ませんでした。ですが、できる限り早く発見すれば治療は簡単に済みます。

一方で近藤誠先生の主張される「がんもどき理論」があります。“がんは検診で早期発見されても、その時点で転移が潜む「本物」と、転移しない「がんもどき」に分けられます。本物は基本的に抗がん剤で治らず、手術はがん細胞の増殖を速める恐れがあるから治療は無意味です。「もどき」は転移しないから治療の必要がありません。どちらにしても、自覚症状がないなら何もしなくていい。これが「放置療法」です。”

たしかに乳がんや前立腺癌、甲状腺癌などの一部にほうっておいてもおとなしく共存している「がんもどき」のような癌もいるんです。だけど、「がんもどき」と「本物の癌の早期」の区別をつける方法が現在のところまだないのです。とすれば” どうなってもええねん!” と心から思い、後で後悔しないと言い切れる方以外はやっぱり早期発見・早期治療をしておくのをオススメします。医学はどんどん進歩しますから。つい最近も、わずか1mmの線虫(せんちゅう)という微生物を使って尿検査で95%の確率で癌チェックができるとの研究結果が発表されました。現在、早期発見ができない膵臓癌にも反応するとのことで、実用化されることを心待ちにしています。いまや国民の2人に1人が癌にかかり、3人に1人が癌で亡くなる時代です。癌は老化現象のひとつといわれるぐらい当たり前の病気になりました。だからといって、やたら心配して手当たり次第に検査を受けるのもCTなどでの放射線被曝を考えるとオススメできません。熊本の竹熊直孝先生がおっしゃいました” 癌という字はな、やまいだれに品物の山と書く。食べ過ぎの病気や。” と。そして喫煙やアルコールといった癌の危険因子をこのまま続けるのか。生活習慣も癌検診も治療も結局、自分がどう生きたいかが問われます。一緒に考えていきましょう。

【外来担当医一覧 2015年7月現在】 予約電話番号：072-260-1601

診察受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 (9:00-11:00)	巽	三谷	巽/三谷	巽	巽/三谷	三谷
午後 (14:00-16:00)	巽(予約)	巽(訪問診療)	巽(予約)	巽(訪問診療)	巽(予約) 三谷(訪問診療)	
夜診 (16:30-18:30)		三谷	三谷		三谷	